



スズカト（県立鈴鹿青少年センター）（鈴鹿市）

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 TEL 059 (224) 2877

FAX 059 (229) 1931 MAIL gikaik@pref.mie.lg.jp

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

URL <https://www.gijiroku.jp/mie/>（スマホ版）

URL <https://www.facebook.com/miepref.gikai> (Facebook)

議会
ホームページ



スマホ版
議会だより



議会
Facebook



令和6年三重県議会定例会 9月定例会会議

一般会計補正予算や条例案など14件の議案を審議し可決するとともに、令和5年度三重県水道事業会計決算など4件を認定しました。また、県民の皆さんからいただいた請願13件と、常任委員会や議員から提案された意見書案13件を審議し、それぞれを採決しました。可決した意見書は国に提出し、要望の実現に向けて働きかけました。

本号の主な内容

- 1面 審議結果、代表質問
- 2面～3面 一般質問
- 4面 議員勉強会を開催、インターンシップ実習生からの提案、出前講座を実施、議員の辞職等、主な開催実績、用語解説

審議結果

9月定例会会議

議員別の賛否等の状況
(PDFファイル)



可決した議案

予算

- 令和6年度三重県一般会計補正予算(第2号)

条例

- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案 ほか5件

その他議案

- 工事請負契約について ほか5件

人事案件(同意)

- 公害審査会委員の選任につき同意を得るについて

認定した企業会計決算

- 令和5年度三重県水道事業会計決算
- 令和5年度三重県工業用水道事業会計決算
- 令和5年度三重県病院事業会計決算
- 令和5年度三重県流域下水道事業会計決算

採択した請願

- トラック運送事業者の持続可能な経営を維持するため国に更なる役割を求めるとについて
- 自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求めるとについて

- 買取再販で扱われる住宅の取得に係る不動産取得税の特例措置における提出書類の見直しについて
- カーボンニュートラル達成に向けた自動車産業への支援の拡充等について
- 国保総合システムの開発や運用に対する国の財政支援に関する意見書の提出を求めるとについて
- 買取再販で扱われる住宅の取得に係る不動産取得税の特例措置の要件の緩和について
- 県立高等学校の制服の指定について複数メーカーが参入できる方法の導入を求めるとについて
- 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めるとについて
- 教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めるとについて
- 防災対策の充実を求めるとについて
- 義務教育費国庫負担制度の充実を求めるとについて
- 教職員の欠員、不補充の速やかな解消および子どもたちの豊かな学びを保障する教職員配置のさらなる充実を求めるとについて

不採択とした請願

- 県独自の学級編制基準の改善によって、25人下限条件をなくし、真の30人学級実現を求めるとについて

可決した意見書案

- カーボンニュートラル実現に向けた自動車産業への支援の拡充等に関する意見書案
- 国保総合システムの開発及び運用に対する国の財政支援を求めると意見書案
- 買取再販で扱われる住宅の取得に係る不動産取得税の特例措置の適用期限の延長及び要件の緩和を求めると意見書案
- トラック運送事業者の持続可能な経営を維持するため国に更なる役割を求めると意見書案
- 日本型直接支払制度の拡充を求めると意見書案
- 自動車関係諸税等を見直しを求めると意見書案
- 子どもの貧困対策等を踏まえた就学及び修学支援に関する制度の拡充を求めると意見書案
- 教職員の欠員等を速やかに解消する施策の実行並びに教職員定数改善計画の策定及び実施並びに教育予算の拡充を求めると意見書案
- 学校における防災対策の充実を求めると意見書案
- 義務教育費国庫負担制度の充実を求めると意見書案
- 緊急浚渫推進事業債の延長を求めると意見書案
- 相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件に関する意見書案

否決した意見書案

- 同性婚の法制化に係る議論の促進を求めると意見書案

代表質問



新総理が進めようとする 地方創生の取り組み

藤田 宜三 議員 新政みえ/鈴鹿市選出



問

石破新総理の所信表明の柱の一つである「地方を守る」政策は、「地方創生」として10年前から三重県を含め全国で取り組まれています。人口減少は止まらず、地方の経済の多くは疲弊する一方です。「地方を守る」ことについて、知事の思いをお聞かせください。

答

今こそ、疲弊しきった地方を再生し、日本を持続可能な形に変える必要があると考えます。
全国知事会からは、東京一極集中の是正や、企業の地方移転の際の税制変更などを国に提案していますので、新総理には、地方創生としての人口減少対策を具体的な行動で示していただきたいと思っております。今後も、全国知事会として結束し、声を上げ続けていきます。

その他の質問事項

- 令和7年度行政展開について
- 人口減少対策について



熊野古道伊勢路世界遺産登録 20周年と古道周辺の安全対策

服部 富男 議員 自由民主党/三重郡選出



問

三重県で唯一の世界遺産である熊野古道伊勢路は、今年度で世界遺産登録20周年を迎えました。県においてもさまざまなイベントを展開されていますが、より多くの方に訪れていただくためには、三重県全体でPRしていくことが重要だと考えます。知事の思いをお聞かせください。

答

熊野古道は、伊勢神宮と熊野三山を結ぶ巡礼の道であり、「精神性」「自然崇拜」に溢れる道だと思います。一方で、宿泊場所や二次交通、案内機能やトイレなどの課題も多いので、プロモーションに加え、観光インフラの整備もしっかり着実に進めていきます。
今後は、南部以外の地域でも熊野古道を盛り上げる方策についても検討したいと考えています。

その他の質問事項

- 観光振興について
- 水田農家への支援について ほか

一般質問



**桑名北高校におけるのり面崩落から
見えてくる防災力強化の必要性**

倉本 崇弘 議員 草莽/桑名市・桑名郡選出



問 台風10号の影響で、避難所にも指定されている桑名北高校ののり面が崩落しましたが、以前から、地元自治会などは避難所としての危険性を市に指摘していたようです。教育施設としての安全を確保するとともに、避難所の機能もしっかりと守っていく必要があります。今後の県の対策を伺います。

答 現在、県立学校のうち44校が避難所に指定されており、災害時も見据えた万全の安全対策を講じておくことが学校設置者の責務だと考えています。今回の事案を受け、全ての県立学校を対象に、崩落の可能性のあるのり面など危険な箇所の調査を、急ぎ実施することとしています。県立学校は建築基準法上の法定点検を3年に1回実施していますが、土砂災害警戒区域等に含まれている学校の擁壁についても改めて点検する方向で検討しています。

その他の質問事項

- 看護職における精神的な要因による離職
- 長寿認定こども園における虐待事案 ほか



能登半島地震の被災地支援活動

山崎 博 議員 自由民主党/四日市市選出



問 県は、能登半島地震発生の日には、水や食料等の物資の提供や情報連絡員の派遣を決定しており、早急な対応に敬意を表します。地震発生直後、知事はどのような場面でどのような決断を行ったのか、決断に至る心境や思いはどうだったのか、お聞かせください。

答 災害対応では即断が求められるので、判断を誤ることがないように、自身の経験に基づき指示を出すことと職員に意見具申を求めることを心掛けました。また、職員の士気を高めるためには、指揮官が先頭に立つ姿を見せることも重要だと考え行動しました。多くの職員が災害対応を経験したので、この支援活動で得られた教訓を生かして、来るべき南海トラフ地震に対応していきたいと考えています。

その他の質問事項

- 大規模災害発生時の対応
- 南海トラフ地震対策の強化



レプリコンワクチンの安全性

廣 耕太郎 議員 新政みえ/伊勢市・鳥羽市選出



問 新型コロナウイルスに対するレプリコンワクチンは、開発国や治験を行った国を含め、他国では承認されていません。しかし日本は、安全性に警鐘を鳴らす多くの専門家がいるにもかかわらず承認し、10月から定期接種が行われます。レプリコンワクチンについて、県の所見を伺います。

答 レプリコンワクチンの安全性については、PMDAの審査報告書において、国内外の臨床試験の成績を評価した結果、承認済みのメッセンジャーRNAワクチンと比べて副反応等について種類や発現割合に大きな差異は無く、「18歳以上の者における本剤の安全性については忍容可能」と評価されています。県としては、国の評価や動向を踏まえ、予防接種の円滑な実施に向けて、市町を支援していきます。

その他の質問事項

- 防災対策について



**「自然保育」の推進で子どもの
育ちと地域活性化を**

稲森 稔尚 議員 草の根運動いが/伊賀市選出



問 豊かな自然環境の中でさまざまな体験活動をする「自然保育」の取り組みが全国で広がりを見せている一方で、安全性の確保のための職員配置などの課題も明らかになっています。不安を抱える保育所等が一步を踏み出せるように、県としての認証制度やガイドラインの策定を求めます。いかがですか。

答 「自然保育」は、子どもの主体性や創造力などの育成に有効とされる一方で、「安全性の確保が困難」、「職員の負担が大きい」、「スキルアップ研修等の不足」など、自然保育の実施に課題を感じている保育所等もあるのが実情です。県は、これらの課題を踏まえるとともに、先進県の事例も参考にし、「自然保育」に取り組む意向のある保育所等が一步を踏み出してもらえるよう、みえ自然保育協議会や市町等と連携してガイドラインの策定を検討します。

その他の質問事項

- 出身県として県立芭蕉翁記念館の建設を
- 香害による健康被害の防止



**三重県が誇る庭園、庭園文化を
活かした「ガーデンツーリズム」推進を**

伊藤 雅慶 議員 新政みえ/三重郡選出



問 国はガーデンツーリズムを推進しています。県内には魅力的な庭園や公園、植物園等がたくさんあるので、国の制度への登録に向けて庭園等の管理者が進める計画策定等に県も参画し支援するとともに、県内の庭園等を文化資源・観光資源として、さらに振興を図るよう要望します。

答 県内各地の庭園や花の名所等が、それぞれの良さを発揮しながら連携していただくことは、本県の新たな旅行目的の創出につながることから、制度への登録を目指して地域で協議会が組織される際などには、県も参画し、広域的な視点で取り組みを支援していきます。また、それぞれの庭園等の魅力を他の観光資源とともに広く発信することで、インバウンドを含めた観光誘客につなげていきます。

その他の質問事項

- 国道306号 菟野町区間の安全対策を求めます
- 学校や地域等における高温対策について ほか



介護人材の確保

野口 正 議員 自由民主党/松阪市選出



問 介護施設における人材不足が厳しい状況にある中、他の都道府県では、外国人を含む介護人材の確保のための支援制度を多数設け、行政としても介護人材の受け入れに積極的に取り組んでいます。介護人材不足の現状と今後の見通し、および人材確保に対する支援について、県の考えを伺います。

答 昨年度の県内の介護関連職種の有効求人倍率は、全産業を大きく上回っており、県が実施した介護人材の需給推計では、2040年度には約5,600人の介護職員が不足すると推計しています。県では、人材確保と定着促進の好循環が生まれるよう、さまざまな取り組みを実施しており、今後は、外国人介護人材の確保に向けた支援策も充実させるため、外国人材と介護施設等のマッチングや受入環境の整備に対する支援を検討します。

その他の質問事項

- 新興感染症への対応
- 木造応急仮設住宅の建設 ほか

一般質問



老朽化した岩田川河川堤防の
防災対策強化

杉本 熊野 議員 新政みえ/津市選出



問 岩田川の河川堤防は、伊勢湾台風後に完成したものであり老朽化が進んでいるため、地震・津波対策を早急に進める必要があると考えます。また、河川堤防の老朽化対策を、国土強靱化予算や交付金事業の対象とするよう国に訴えていく必要があると考えます。県の見解をお聞かせください。

答 近年、激甚化・頻発化する水災害に対応するため、気候変動を踏まえた河川整備計画の見直しを進めており、岩田川については来年度以降に着手予定です。見直しにあたっては、洪水対策だけでなく河川堤防の地震・津波対策についても老朽化や市街化の状況などの優先度を考慮しつつ、対策の必要性について検討します。また、河川堤防の老朽化対策を補助事業の対象とするよう、引き続き国に強く要望していきます。

その他の質問事項

- 虐待から「子どもの命」を守り「子どもの最善の利益」の保障を！
- 戦後80年 平和学習の推進を！



食料自給総合対策調査特別
委員会からの提言書への対応

中瀬 信之 議員 新政みえ/度会郡選出



問 昨年度、議会で設置した特別委員会から知事へ、食料の安定供給などに関する提言を行いました。この提言を受けて県が一丸となって取り組むことは、市町や県民に対するアピールになり、県の食料自給力を上げ、県の農林水産業や関係する産業の生き残りや発展に寄与します。知事の取組姿勢を伺います。

答 農林水産業を持続可能なものとし、自給率を上げていくには、IT等を用いたスマート化や集約化による効率的な生産、地産地消などによる販路の拡大と安定化などにより、生産量を上げる必要があります。今後も、機会をとらえて県民の皆さんへの応援の呼びかけを行うとともに、来年度予算においても、農地の集約化や販路拡大など、さらなる取り組みについて検討します。

その他の質問事項

- 食育の推進
- 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けて



戦争を物語る資料や遺品などを
次世代へ伝え遺す取り組み

日沖 正信 議員 新政みえ/いなべ市・員弁郡選出



問 県は、貴重な戦争資料などに誰もがアクセスできるよう、ホームページ上に「三重県戦争資料館」を開設していますが、平成21年度以降更新されていません。資料や遺品などをさらに調査し追加整理を行いながら内容を充実させ、後世に大切な記録を残していくべきと考えますがいかがですか。

答 県では、戦後60年の節目にあたり、身近に戦争の悲惨さと平和の尊さを考えていただくため、県内の戦争に関する遺品等の調査を行い、「戦争資料館」として県のホームページで公開しました。戦争を体験された方が年々少なくなり、往時の戦争資料等が失われつつあることから、戦後80年を契機に、ご遺族の方々等から寄せられる新たな資料を追加、更新するとともに、見やすさの工夫や関連情報の掲載の充実などに取り組みます。

その他の質問事項

- 若者に選ばれる三重
- 高齢者介護の現場を支える取り組み



地域共生社会の推進

西場 信行 議員 自由民主党/多気郡選出



問 県の委託事業を契機に、名張市や県保険者協議会では、全国でも先進的存在としてリンクワーカー研修を実施してきました。これまでの取り組みを生かし、県において社会的処方^⑦に不可欠なリンクワーカーの活用により地域共生社会づくりを進めるべきと考えますが、県の考えをお聞かせください。

答 県では、地域共生社会の理念や包括的な支援体制の整備が県内全域に広がるよう、市町や社会福祉協議会の職員等を対象に、地域で核となる人材を育成する研修を実施しています。課題を抱える方を支援し、社会参加の実現につなげていくためには、地域において、「リンクワーカー」のような役割を持った人材の育成や活用を進めることが有効であり、今後の研修では社会的処方の考え方を取り入れた内容としていきます。

その他の質問事項

- 教員確保対策
- 宮川の流域回復と水質改善



生コンなどの主要資材高騰に伴う
適切な積算、契約の対応

中森 博文 議員 自由民主党/名張市選出



問 公共工事の積算価格に大きく影響する生コンなどの主要資材の高騰に対し、タイムラグなく、発注・契約単価を実勢価格に変更すべきと考えますがいかがですか。また、インフレスライド^⑧による請負額変更時の受注者負担の軽減について、国へ要望する必要があると考えますがいかがですか。

答 資材の設計単価については、物価調査機関が毎月発行する書籍等に掲載のある資材は、毎月、最新単価に更新するとともに、未掲載の単価の内、生コンなどの主要資材については県独自で毎月調査し、5%以上の変動があった場合に見直しています。また、スライド条項にかかる受注者負担の軽減については、建設業界からも要望があるため、国に対してマニュアルの見直しを求めています。

その他の質問事項

- 発想の転換！ 本庁舎のおもいやり駐車場の上屋の設置について
- 伝統的木造建築物にかかる建築確認申請手続きについて ほか



活力ある漁村づくりに向けた
「海業」の推進

中嶋 年規 議員 自由民主党/志摩市選出



問 国は、漁村ならではの地域資源の価値や魅力を生かした「海業」の振興により雇用機会確保と所得向上を図っています。県は今年度、「三重県水産業及び漁村の振興に関する基本計画」の次期計画の策定を進めていますが、「海業」の振興についてどのように取り組むのか、お聞かせください。

答 次期計画では「海業」を新たに位置付け、現在も実施している現場のニーズに対応した普及指導員のサポートに加え、海業の展開に必要な調査や販路開拓等への支援、漁港施設の利活用に向けた環境整備など、国の事業も活用しながらソフト・ハード両面で支援し、活力ある漁村の構築に向けた取り組みを加速化します。今後も、漁村における所得の向上や雇用機会の確保を図るため、海業を推進し、漁村の活力向上につなげていきます。

その他の質問事項

- 能登半島地震の教訓を踏まえた取り組み
- 物価高騰、人材不足など喫緊の課題への対応を速やかに ほか



議員勉強会を開催

10月3日、名城大学大学院の鈴木輝明教授を講師にお招きし、令和6年度第1回議員勉強会を開催しました。伊勢湾の水産資源の減少が深刻化し、その要因として湾内に流入する栄養塩不足が指摘されているなど、「水産王国みえ」の復活に向けてはさまざまな課題があります。現在、三重県では今後10年間の施策の方向性等を定める「三重県水産業及び漁村の振興に関する基本計画」の策定を進めていることから、「豊かな伊勢湾の再生に向けて」と題して、お話いただきました。伊勢湾再生に向けての必要な視点について解説いただくなど、今後の三重県における水産業振興の在り方について考える機会となりました。



議員勉強会の様子

インターンシップ実習生からの提案を受けました

県議会では、議会における監視機能の強化や政策立案の充実、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、インターンシップ実習生を受け入れています。21人目となる今年は、三重大学大学院の学生を実習生として受け入れました。実習終了後、議員を前に「立候補者の減少や無投票について」をテーマに報告会を開催しました。報告の中で、広聴広報活動の地道な継続・強化として主権者教育の継続などを提案いただくとともに、議員に立候補するにあたってのハードルの解消として、落選や辞職後に会社に復帰しやすい制度づくりなどの提案をいただき、議員との間で活発な質疑応答が行われました。



報告会の様子

「出前講座」を実施しました

県議会を身近に感じてもらうことを目的に、議員が学校に出向いて授業を行う「みえ県議会出前講座」を、学校からの申し込みを受けて実施しています。10月までに実施した、鈴鹿市立白子小学校、東員町立稲部小学校、国立大学法人三重大学では、広聴広報会議の委員が2名で学校を訪問し、県議会の仕組みや議員の仕事などを動画やスライド資料を使い授業したあと、皆さんからのたくさんの質問に答えました。



鈴鹿市立白子小学校



東員町立稲部小学校



国立大学法人三重大学

議員の辞職等について

鈴鹿市選出の下野幸助議員から議員辞職願が提出され、10月10日の本会議で辞職が許可されました。

また、伊賀市選出の稲森稔尚議員は、11月3日、伊賀市長選挙に立候補の届出を行い受理されたため、公職選挙法第90条の規定により同日付けで議員を退職しました。

これにより、11月3日現在、三重県議会議員は46人となりました。

なお、公職選挙法の規定により、今回、補欠選挙は行われません。

児童・学生からの質問

- ・県議会議員を目指したきっかけを教えてください。
- ・採決の時に賛成と反対が同数の場合はどうするのですか。
- ・議員として三重県の大学生に期待することは何ですか。 など

主な開催実績

9月

- 13日 **ワンヘルス推進調査特別委員会**
参考人の出席要求について 他
- 17日 **本会議**
議案12件上程、認定議案4件上程
- 20日 **本会議**
議案に関する質疑(1人)
伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会
関係法令・条例等について 他
- 25日 **本会議**
一般質問(5人)
政策企画雇用経済観光常任委員会
みえ高校生県議会でも出された質問、提案を受けて
- 27日 **本会議**
一般質問(4人)

10月

- 1日 **本会議**
一般質問(4人)
教育警察常任委員会
請願第27号に係る協議について
- 2日 **予算決算常任委員会**
議案の審査
- 4日～9日
各常任委員会・分科会
議案の審査、所管事項の調査 他
- 10日 **本会議**
議案1件上程・可決
予算決算常任委員会総務地域連携交通分科会
議案の審査
予算決算常任委員会
議案の審査

- 11日 **ワンヘルス推進調査特別委員会**
執行部からの聴取について 他
- 15日 **本会議**
代表質問(2人)
予算決算常任委員会
議案の審査
医療保健子ども福祉病院常任委員会
所管事項の調査 他
- 18日 **本会議**
議案12件可決、認定議案4件認定、請願12件採択・1件不採択、意見書案13件上程・12件可決・1件否決、人事同意議案1件上程・同意、認定議案12件上程
予算決算常任委員会
議案の審査

※この他にも、さまざまな会議を開催しました

用語解説 (2～3ページの「一般質問」に関するもの)

- ① **自然保育**
子どもの状況や発達過程を踏まえた適切な環境づくりや支援のもと、自然体験活動を通じて、子どもの豊かな人間性を育み、心身の調和の取れた発達の基礎を培うことを目指して行われる保育・幼児教育のことです。
- ② **レプリコンワクチン**
接種後にメッセンジャーRNAが一定期間複製され、持続的にウイルスに対する抗体がつくられるため、少ない接種量でワクチンの効果が長く続くことが期待される次世代メッセンジャーRNAワクチンのことです。
- ③ **PMDA**
独立行政法人医薬品医療機器総合機構の略。医薬品などの健康被害の救済、承認審査、安全対策を担う公的機関のことです。
- ④ **ガーデンツーリズム**
地域の活性化と庭園文化の普及を図るため、各地域の複数の

- 庭園等の連携により、魅力的な体験や交流を創出する周遊型観光の取り組みのことです。国土交通省は、この取り組みを推進するため、平成31年に「ジャパンガーデンツーリズム登録制度」を創設しました。
- ⑤ **地域共生社会**
制度・分野ごとの「縦割り」や、「支え手」「受け手」という関係を超え、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人や資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らし・生きがい・地域を、ともに創っていく社会のことです。
- ⑥ **リンクワーカー**
健康課題や社会的課題を抱える対象者との対話を通じ、地域の活動や資源へつなぐ、社会資源を創出する役割を担う人のことです。
- ⑦ **社会的処方**
薬の代わりに「社会とのつながり」を処方することで、個々が抱

- える問題を解決することを目指す取り組みのことです。
- ⑧ **インフレスライド**
建設工事請負契約書第26条第6項に基づき、「予期することのできない特別の事情により、工期内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、請負代金額が著しく不適当となったとき」に、請負代金額の変更を請求できる措置のことです。
県は、国が定める運用マニュアル(案)を準用しており、そこには請負代金額の変更にあたっては、残工事費の変動額のうち、残工事の請負代金額の1%を受注者が負担することとされています。
- ⑨ **海業(うみぎょう)**
海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であって、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるもののことです。